

第8回 あかちゃん広場 ご報告

10月25日（火）に、第8回「あかちゃん広場」を開催しました。今回も、賑やかで和やかな、元気いっぱいの笑顔あふれるあつという間の1時間半でした。



しっかりと踏ん張った両足と、ぎゅっと結ばれた唇。全身に緊張感がみなぎっていますね。まさに真剣そのもの！



絵本コーナーの机とベンチの向きをかえてみたら、絵本を手にする子どもが増えました。



ハロウィーンにちなんだパネルシアター。



扉の向こうに隠れているのは…?! みんな興味津々!

わたしの場合、家のリビングの机の上や床の上に玩具や筆記具が散乱していたらイライラしますが、この部屋では、子どもたちがどんな行動をしても／しなくても、なんでこういう遊び方をするのかな、何を感じているのかな、何を考えているのかな、とワクワクしながら見守ることができます。

片付けを「後始末＝非生産的な行為」だと考え、それが一日に何度も繰り返されると「自分は何をやっているんだ…」と気が滅入りますが、最近は、手が「突き出た脳」と言われることを思い出し、色んなものが散らかっている部屋を片付けながら「この遊びを通してどんなふうに脳が育っていたのかな」と想像することに喜びを見出して、片付けを楽しんでいます。ポジティブな意味づけって大事ですね。

…手を使って片付けをする自分の脳も、しっかりと働いていることを願いつつ。